

この度は、当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

ガラスは脆く壊れ易い性質がありますので、取扱いには十分御注意いただき、切傷をなさらぬようお願い申し上げます。ガラス体積計は精密器具で、取扱いにより目盛公差が大きくなる場合があります。目盛公差の点検を、必要に応じて実施されることをお勧めします。

この製品には下記の部品が付属されておりますので、お確かめ下さい。

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. カルシューム管            | 2個 |
| 2. 二連球 No. 6          | 1個 |
| 3. 平面ジョイント(シリコンパッキン付) | 1個 |
| 4. ピンチコック             | 1個 |

#### 《ガラス取扱い上の注意》

1. 使用前ごとに点検し、キズ・カケの有る製品は使用しないで下さい。
2. 落としたり 衝撃や曲げの力を与えないで下さい。
3. 局部に力を加えないで下さい。
4. 加圧・減圧・加熱・冷却には使用できません。
5. ガラスが壊れた場合でも、内容液を浴びて負傷したりガラス片・破断面により切傷を受けたりしないよう、御注意下さい。
6. 洗浄の際、研磨剤入りスポンジ・金属たわし・クレンザーなどを使用すると破損の原因になります。
7. 手洗浄の際、力を入れてひねり洗いしますと破損する場合があります。保護用手袋・柄付きスポンジ等を御使用下さい。
8. ガラス同士又は堅い物とぶつからないように取り扱って下さい。

#### 《ビュレットの使用方法》

1. 体積計は垂直にして御使用下さい。
2. 体積計の内面が清浄であることを確認して、測定して下さい。
3. ビュレットは、排出した体積を示す出用 (TD)として作られています。使用目的により使い分けて下さい。
4. 接液している内面は一様にぬれており、気泡の無いこと、液面がきれいなメニスカスになっていることを確認して下さい。
5. メニスカスの最深部と目盛の上縁とを水平に視定して下さい。尚、青筋入りビュレットの場合は、青線が水際によって屈折され、最も狭く見える部分を水際の最深部とします。
6. ビュレットは液の排出を自然落下で行なって下さい。強制排出すると、目盛公差が大きくなる場合があります。
7. 液を入れている時間はできるだけ短時間にして下さい。液を入れたまま放置すると、目盛公差が大きくなったり液漏れする場合\*があります。
8. 測定後は直ちに洗浄し純水で濯いだ後自然乾燥させ、ほこりが内面に入らないようにして保管してください。

\* コック部より漏水した場合は、外筒部の内面及び活栓の表面にゴミ等が付着していないか御確認下さい。また、漏れを小さくするためには、

ガラス製活栓の場合 ……表面に薄く均一にワセリンもしくはシリコングリースを塗る。

推奨品 : トーレHVG (製品コード: 8150 - 03 - 10)

テフロン製活栓の場合 ……プラグ下端のナットをきつく締める

ことが有効です。(漏れ量は JIS規格で、活栓を閉じて予備容量に相当する体積の水を満たしたまま5分経過する間に、体積の許容誤差に相当する体積以内となっています。)

### 《ガラス体積計の使用法上の注意》

1. 50 以上に加熱すると、目盛公差が大きくなる場合があります。
2. 破損品・修理品・改造品は目盛公差が大きくなる場合があります。
3. アルカリ・フッ酸・磷酸・エチレンジアミンテトラ酢酸等ガラスを腐食する液を、測定・洗浄等に使用すると目盛公差が大きくなる場合があります。

### 注意

自動ピュレットは、ゼロ点が自動的に定まるピュレットのため、ゼロ目盛線がありません。又、活栓付ピュレットを変造した自動ピュレットと区別するため、通産省通達（機計 55-61）により零の目盛標識を付さないこととなっています。

**製品には万全を期しておりますが、万一異常がございましたら使用を中止してください。**

### 《使用上のポイント》

1. 試薬の純度を保つためにカルシューム管の内部には、乾燥剤を御使用下さい。（上下にガラスウール、または綿を詰めて下さい。）
2. ピュレット本体と瓶の気密性保持のため、また平面ジョイント部分破損防止のため、接続部分には必ず、シリコンパッキンを御使用下さい。
3. ゴム管の装着には、ゴム止部分に水分を少し与えますと脱着が容易です。

### 《使用法》

1. コック部及びピンチコックを閉じてからスプレーを押し、瓶中の液を押し上げてピュレット部に液をためて下さい。
2. 上部のノズルの口より1 cm程度上まで液面が上昇したら、ピンチコックを開いてください。サイフォンの作用により、ゼロ点が自動的に定まります。（ためすぎると、上部エア抜きより液があふれだすので御注意願います。）

### 《本体と使用ガラス瓶との関係》

使用するピュレットにより適合する瓶が異なりますので、下表参照下さい。

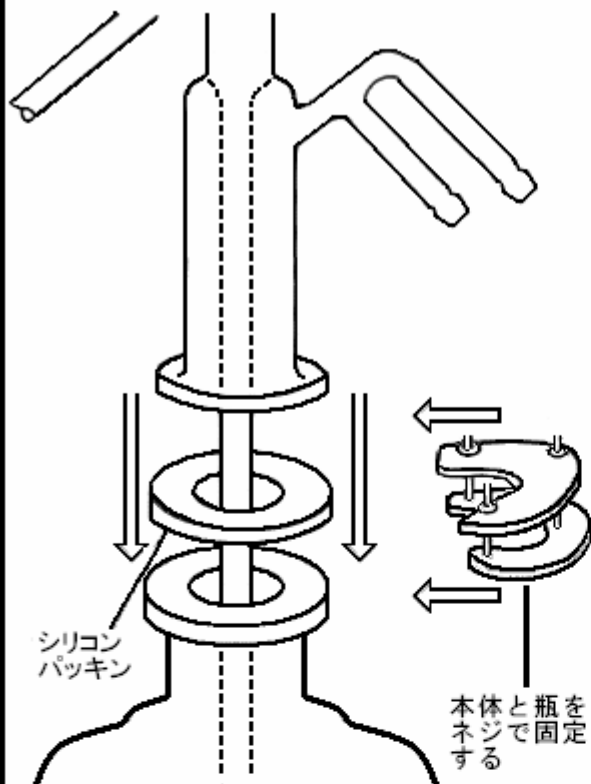
ピュレット容量	適合瓶サイズ
10m l	1000m l
25m l	2000m l
50m l	2000m l

### 《付属品について》

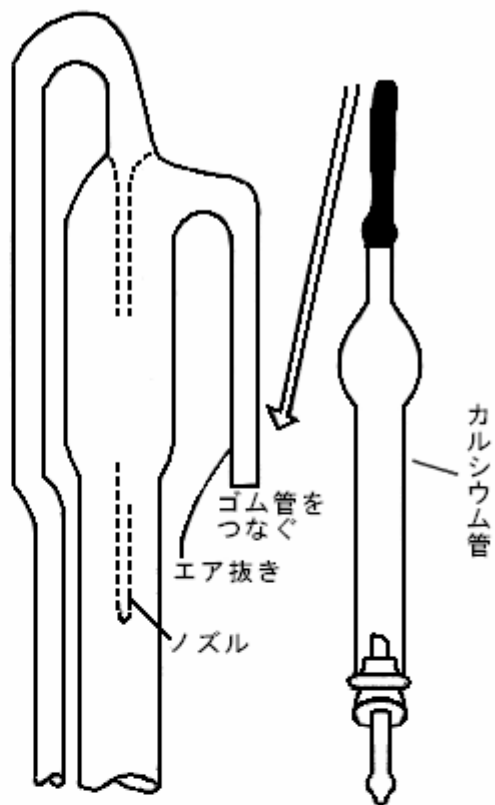
付属品御入用の際は下記製品コードにて御注文下さい。

- カルシューム管 白 2208 - 01 - 10 (製品コード番号)
- カルシューム管 茶 2208 - 02 - 10
- ピンチコック・モール 小 2208 - 03 - 10
- 平面ジョイント(パッキン含) 2208 - 04 - 10
- 平面ジョイント用パッキン 2208 - 05 - 10
- 黒ゴム管 B - 5 2208 - 06 - 10
- 2連球 No.6 2208 - 07 - 10

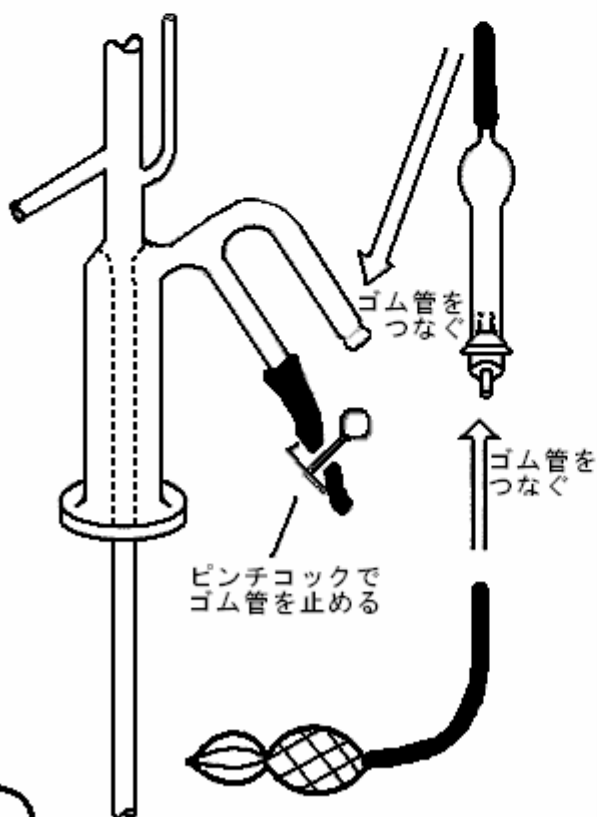
①カップリングの取付



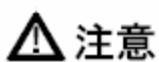
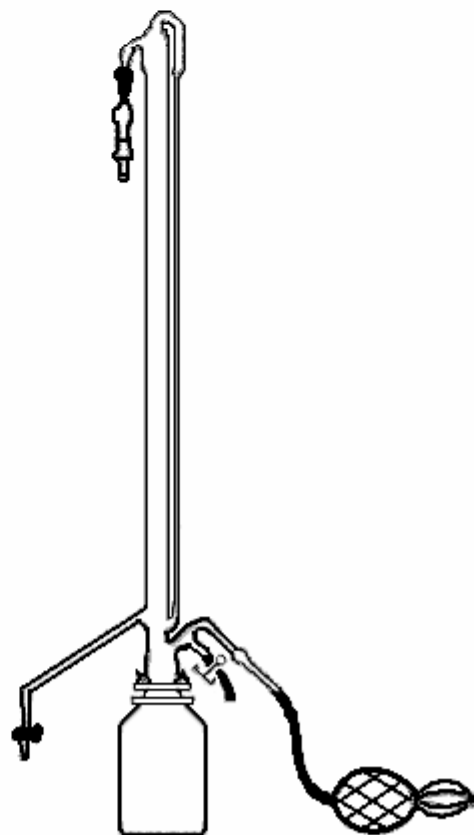
②上部カルシウム管の取付



③カルシウム管(下部)ピンチコック  
自動ピュレット用スプレーの取付



④自動ピュレット完成図



注意

ピュレットにゴムスプレーやカルシウム管等をつけたり外したりする場合は、保護用手袋等を着用して下さい。



Climbing

株式会社クライミング